

文部科学省科学研究費補助金 新学術領域研究「法と人間科学」2012 年度企画

## 「いじめ問題プロジェクトーいじめ・人権・教育・法ー」を開催

ーわたしたちは、“いじめ”にどう立ち向かうのか。いじめ問題の出口を捜すー

文部科学省科学研究費補助金 新学術領域研究「法と人間科学」2012 年度企画「いじめ問題プロジェクトーいじめ・人権・教育・法」を秋田大学 60 周年記念ホールにて開催します。

いじめが大きな社会問題となっています。「いじめ」とは何か、どのように抑制し防止すればよいのか、いじめ問題の適切な解決方法とはいかなるものか、皆さんと共に考え、議論したいと思います。

午前の部では、いじめ事件の実態や、いじめ防止の活動等について調査した内容を学生が報告します。また、本プロジェクト企画者からいじめに関する論点を基調提案として提示します。午後の部では、午前の部をふまえ、「いじめ PTSD 事件」の模擬民事裁判を上演し、シンポジウムを開催します。これらの内容を通して、参加者の皆さんと共に、私たちはいじめ問題にどう立ち向かえばよいのか、いじめ問題の解決策を探りたいと思います。

日 時：平成 25 年 3 月 3 日（日）

第 1 部 9：30～12：00 第 2 部 13：00～17：00

場 所：秋田大学 60 周年記念ホール（教育文化学部 3 号館 145 教室）

参加費：無料（事前申込不要）

当日プログラム：

第 1 部（午前の部）

1. 学生による研究発表「教育は“いじめ”にどう立ち向かうのか」
2. 基調提案「紛争解決と“生ける法”からとらえる“いじめ”」

第 2 部（午後の部）

3. 模擬裁判ーいじめ PTSD 民事裁判ー
  - ① 模擬民事裁判までの経緯ー模擬学年会議・職員会議を経てー
  - ② 弁護士と学生による裁判劇
4. シンポジウム「いじめ・人権・教育・法」

※詳細は別紙をご覧ください。

※本企画の様子は、DVD として編集し公開する予定です。参観する方は、この点をご承知の上でご参観ください。

【お問い合わせ先】秋田大学教育文化学部 井門正美 研究室

TEL/FAX：018-889-2644

E-mail：[idom@cna.ne.jp](mailto:idom@cna.ne.jp) \*メールでお問い合わせいただけますと、直ぐに対応できます。



わたしたちは、  
“いじめ”にどう立ち向かうのか。

いじめ問題の出口を捜す。

札幌市資料館 (旧札幌控訴院法廷)

**日程** 2013年3月3日(日)

**場所** 秋田大学60周年記念ホール (教育文化学部3号館145教室)

**内容** 第1部 (午前の部)

1. 学生による研究発表 (9:30~11:00)  
「教育は“いじめ”にどう立ち向かうのか」
2. 基調提案 (11:10~12:00)  
「紛争解決と“生ける法”からとらえる“いじめ”」

第2部 (午後の部)

3. 模擬裁判ーいじめPTSD民事裁判ー (13:00~15:00)  
①民事裁判までの経緯ー模擬学年会議・職員会議を経てー  
②裁判劇
4. シンポジウム (15:20~17:00)  
「いじめ・人権・教育・法」

企画・コーディネート「法意識と教育グループ：法教育班」  
井門 正美 (秋田大学)・久保山 力也 (青山学院大学)

主催 文部科学省科学研究費補助金新学術領域研究「法と人間科学」

後援 秋田大学／秋田大学ゲーミング・シミュレーション研究会／秋田法教育研究会

# 「いじめ問題プロジェクト－いじめ・人権・教育・法－」 概 要

## ◆内 容

### 第1部 (午前の部)

#### 1. 学生による研究発表

##### 「教育は“いじめ”にどう立ち向かうのか」

教職課程の学生が、いじめ問題をどう捉え、どう解決に導くのか、5つの研究班に分かれてその方策を追究する。

- ①いじめ問題総合的調査班発表
- ②ネットいじめ・学校裏サイト調査班発表
- ③いじめ防止条例・法関係調査班発表
- ④いじめ防止プログラム調査班発表
- ⑤いじめPTSD調査・模擬裁判実施班発表

#### 2. 基調提案

##### 「紛争解決と“生ける法”からとらえる“いじめ”」

いじめ問題克服には、法に基づく厳格な対応しかないのか。いじめの様式と対応方法について、議論の素材を提供する。

〈 休 憩 〉

### 第2部 (午後の部)

#### 3. 模擬裁判

##### ①模擬民事裁判までの経緯－模擬学年会議・職員会議を経て－

ある中学校で、いじめ問題が発生した。被害生徒とその保護者の訴えに学校はどう対応するのか。学生による模擬学年会議・職員会議の実践を紹介する。

\*シナリオ制作 (井門 正美、神居 隆)

##### ②弁護士と学生による裁判劇

学校の問題対応は挫折した。被害生徒はPTSDで不登校となり通院している。被害生徒と保護者は、学校設置者・加害生徒とその保護者を民事事件として訴えた。この裁判の行方はいかに。

\*シナリオ制作・裁判劇 (三浦 広久、山本 尚子、高椅 重剛)

#### 4. シンポジウム

##### 「いじめ・人権・教育・法」

わたしたちは、いじめにどう立ち向かうのか。5人のシンポジストの提案を契機として、熱く語り合う。

##### 《シンポジスト》

梅野 正信 (上越教育大学教授)

神居 隆 (秋田大学特任教授)

岸田 洋輔 (札幌弁護士会弁護士)

久保山 力也 (青山学院大学兼任講師)

仲 真紀子 (北海道大学大学院教授)